

## 平成 23 年度共同研究公募要領

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターでは、社会調査データの保存・公開を行うデータアーカイブ事業を中心として、社会調査の実施、二次分析研究の普及・促進、国内外のデータアーカイブとの連携などを行っています。

当センターでは、共同利用・共同研究拠点事業として、二次分析にかかわる共同研究の募集を行います。平成 23 年度は「参加者公募型」および「課題公募型」で募集しますので、ご応募ください。

### 1. 公募事項

#### (1) 参加者公募型

「参加者公募型」研究は、あらかじめ設定されたテーマやデータに関して参加者を募り、当センター内の研究者と共同で行う研究です。募集は年 1 回です。2 月に成果報告会を開催し、年度内にディスカッションペーパーを発行します。平成 23 年度は、以下のテーマを設定します。旅費については、調整のうえ、予算の範囲内で支援します。

#### a) 朝日新聞 3000 人世論調査「あなたにとって政治とは」データの二次分析

この研究会では、佐々木毅・監修、高木文哉・吉田貴文・前田和敬・峰久和哲著『政治を考えたあなたへの 80 問』（朝日新聞社 2007 年）において分析されている朝日新聞社の世論調査データを主に利用します。実地調査は 2007 年 4 月から 5 月にかけて郵送法で行われており、回収率は 72%、無効票を除いた標本規模は 2166 人です。

#### (2) 課題公募型

「課題公募型」研究は、申請者が研究テーマ・利用データ・共同研究者を設定して応募し、当センターが所有する社会調査データを用いて行う研究です。募集は年 1 回です。2 月または 3 月に成果報告会を開催します。（当センターが所有する社会調査データについては当センターのホームページに掲載されています。）

各研究課題については、本センター協議会で審議・選考のうえ採択の上決定されます。

当センターでの研究会および成果報告会開催にあたっての旅費を、調整のうえ、予算の範囲内で支援します。また、各研究代表者にかんしては、センター内の共同研究室の利用についても便宜をはかります。

### 2. 応募資格

大学および公的研究機関ならびに当センターへのデータ寄託機関の研究者、またこれらに準ずる研究者、大学院生、ならびに本センター長が適当と認めた者とします。

### 3. 応募方法

- (1) 参加者公募型研究の申請は当センターのホームページをご覧のうえ、所定の申請書様式1（ホームページからダウンロードできます）に必要事項をご記入のうえ下記電子メール宛にお送りください。
- (2) 課題公募型研究の申請にあたっては、当センターから公開されている社会調査データを十分参考にしてください。所定の申請書様式2（ホームページからダウンロードできます）に必要事項をご記入のうえ下記電子メール宛にお送りください。ご不明な点がありましたら、電子メールでお問い合わせください。  
メールの件名には（1）または（2）のいずれの応募であるかを明記してください。

[宛先・問い合わせ先]

s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp 担当：佐藤香

### 4. 研究期間

採択された研究の有効期限は、採択日から平成24年3月31日までの平成23年度内です。

### 5. 応募締切

- (1) 参加者公募型研究、(2) 課題公募型研究のいずれについても、平成23年5月9日（月）を締切とします。

### 6. 選考

本センター協議会で審議・選考のうえ、最終決定します。

### 7. 採否の通知

- (1) 参加者公募型研究は平成23年5月13日（金）までに、(2) 課題公募型研究は平成23年5月19日（木）までに、申請者宛にご連絡します。

### 8. 共同研究の成果報告等

共同研究を行った研究者は2月または3月に開催される成果報告会での報告を行ってください。

- (1) 参加者公募型研究を行う研究者はディスカッションペーパーの提出が必要です。ディスカッションペーパーの刊行以前に学術雑誌等での発表はお控えください。
- (2) 課題公募型研究を行う研究者が成果を学術雑誌等において発表される場合には、本センターとの共同利用研究に基づくものであることを付記していただくとともに、データ利用報告書と該当論文・報告等を提出していただきます。

以上